



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年12月6日(金) No.32 発行
文責：松本 卓也

東陽中の未来を託す ～立会演説会～

11月29日(金)、生徒会役員選挙立会演説会を行いました。東陽中の未来を託すリーダーを選ぶ選挙です。立会演説会では、一人一人が立候補した理由とよりよくするための抱負を述べてくれました。

「独りぼっちがいない学校、挨拶・返事がしっかりできる学校を創ります。また、自分の苦手とするコミュニケーション能力を高めたいです。(会長候補 Iさん)」
 「役員先輩方に憧れをもったから立候補しました。独りぼっちがいない学校を創ります。また、役員になることで、自分の心を成長させたいです。(会長候補 Oさん)」
 「皆さんの役に立ちたい、一人一人が輝ける学校を創りたいと思って立候補しました。1年間、書記を務めた経験を生かしていきます。(副会長候補 Uさん)」
 「いい経験になると思ったからです。みんなの意見を聴き、過ごしやすい学校を創ります。(書記候補 Sさん)」
 「相手の目を見て明るく挨拶ができる東陽中、ハキハキと返事ができる東陽中を創ります。(書記候補 Tさん)」
 「学級委員として、積極的に発言・行動することを心掛けてきました。安心・楽しい学校を目指します。(書記候補 Mさん)」
 「礼儀正しく、明るい学校にしたいと思ったからです。皆さんの心も整えられる学校にします。(書記候補 Mさん)」



真剣な思いを受け、他の子どもたちも、「課題を共に解決していける候補者は誰なのか？」を真剣に考え、投票していました。開票の結果、会長候補者の得票数が同数になり、選挙管理委員および両候補者と協議し、再度、演説・投票を行うことにしました。“学校生活をよりよくするため、学校生活の中での課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図り、実践していく・・・”生徒会活動のねらいに沿った素晴らしい立会演説会でした。立候補者の皆さん、選挙管理委員会のKさん、Iさん、Hさん、生徒会執行部のTさん、Mさん、ありがとうございました。



学んだ知識がどのくらい定着しましたか？

11月29日(金)と12月2日(月)に、熊本県および八代市学力・学習状況調査を1・2年生で実施しました。結果は子どもたちにお知らせするとともに、授業改善や学習習慣の定着、生活習慣の見直しの取組が課題改善につながっているのか？今後、検証・改善をさらに進めていきます。保護者の皆様の側面からの支援をよろしくお願いいたします。



見聞を広め、よりよい人間関係を築くために

12月5日(木)から3日間、2年生は修学旅行を行っています。本日の班別自主行動では、3班に分かれて京都市内の名所・旧跡を巡りました。状況に応じた適切な判断力と行動力を身につけ、仲間と協力することや助け合うことの大切さを学ぶことが目的です。途中ハプニングがありながらも、全員、とてもよい表情で京都駅に戻ってきました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()